

平成 30 年度第 2 回墨田区介護保険事業運営協議会サービス部会報告

- 1 日 時 平成 31 年 1 月 24 日 (木) 午後 1 時 30 分から (午後 2 時 25 分終了)
- 2 場 所 区役所 8 階 82 会議室
- 3 議事次第
- (1) 開会
- (2) 墨田区高齢者福祉総合計画・第 7 期介護保険事業計画平成 30 年度進捗状況について
介護保険給付等の実績 (4 月～9 月)【資料 1】
地域包括ケアシステムの充実【資料 2 - 1】【資料 2 - 2】
- (3) すみだ介護福祉フェア 2018 の実績報告について【資料 3】【資料 4】
- (4) 報告事項
すみだ介護のおしごと合同説明会の開催について【資料 5】
- (5) 閉会

4 配布資料

- 【資料 1】平成 30 年度第 7 期介護保険事業実績 (4 月～9 月)
- 【資料 2 - 1】地域包括ケアシステムの充実
- 【資料 2 - 2】地域包括ケア会議を契機に始まった、地域と連携した取り組み
- 【資料 3】墨田区のお知らせ (10 月 21 日号) 高齢者福祉・介護保険特集号
- 【資料 4】「すみだ介護福祉フェア 2018」実績報告
- 【資料 5】すみだ介護のおしごと合同説明会の開催について
- 【資料 6】第 1 回墨田区介護保険事業運営協議会サービス部会議事要旨

5 出席者

氏 名	所 属	出欠
成 玉恵	千葉県立保健医療大学	欠
山室 学	墨田区医師会	出
堀田 富士子	東京都リハビリテーション病院	出
植竹 香苗	墨田区特別養護老人ホーム施設長会	欠
安藤 朝規	弁護士・墨田区法律相談員	出
佐藤 令二	墨田区介護相談員	出
濱田 康子	すみだケアマネジャー連絡会	出
青柳 吉季	墨田区訪問介護事業者連絡会	出
佐藤 和信	第 1 号被保険者	出
青木 剛	墨田区福祉保健部長	出

部会長

副部会長

事務局出席者	岩下 弘之	介護保険課長
	藤田 公德	高齢者福祉課長
	梅原 和恵	副参事（介護・医療連携調整担当）
	蒲生 貴弘	介護保険課管理・計画担当主査
	田中 雅美	介護保険課給付・事業者担当主査
	太田 祐介	介護保険課給付・事業者担当主査
	内田 瑞穂	高齢者福祉課支援係長
	瀧澤 俊享	高齢者福祉課地域支援係長
	加藤 靖規	高齢者福祉課地域支援係主査
	星野 優	高齢者福祉課地域支援係主査
	柳 誠	高齢者福祉課相談係長
	田島 あゆみ	高齢者福祉課相談係主査
	鈴木 伸司	介護保険課管理・計画担当主事
	伊草 孝志	介護保険課管理・計画担当主事

6 議事内容

(1) 墨田区高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画 平成 30 年度進捗状況について

介護保険給付等の実績(4月～9月)

地域包括ケアシステムの充実

事務局から、資料をもとに墨田区高齢者福祉総合計画・第7期介護保険事業計画の平成30年度の進捗状況について報告があった。

委員から、4月から9月までの半年分を点検した結果、目指す成果は得られているのかとの質問に対して、事務局から、介護給付費については、半年で約50%の執行状況となっている。また、各事業についても、7期計画で定めた8つの柱に沿って実施しており、計画どおり進んでいるとの説明があった。これに対して、委員から、今後実績が積み重なれば、100%に近づいていくということかとの質問があり、事務局からは、そうである。1年間の実績については、7月頃に報告できるかと思うとの説明があった。

また、高齢者支援総合センターの機能強化について、委員から、南部地区に福祉総合型を整備する予定はあるのかとの質問に対して、事務局から、区の基本計画では、区内に4か所整備することになっている。7期計画では、北部地区に2か所整備する予定だが、南部地区については、今のところ未定であるとの説明があった。これに対して、委員から、南部地区には、そうした施設が少ないように感じる。優先的に整備をお願いしたいとの意見が出された。

また、委員から、介護サービスの実績について、地域密着型サービスの夜間対応型訪問介護が、計画対比24.0%となっている。これは、周知が足りないの

か、それともサービスの需要がないのかとの質問に対して、事務局から、'以前実施した「在宅介護実態調査」では、夜間の排泄や認知症状への対応をケアするサービスを望む意見が多く寄せられていた。ニーズはあり、積極的にPRしていくことが必要だと考えているとの説明があった。

(2) すみだ介護福祉フェア2018の実績報告について

11月に開催した「すみだ介護福祉フェア2018」について、事務局から報告があった。

委員から、今回の来場者数は、前回と比べてどうだったかとの質問があり、事務局から、'3年前と比べると、100名程度減っているとの説明があった。委員からは、周知方法について、より人の目に触れるような場所にチラシを置くなど工夫が必要だろうとの意見が出された。

また、委員から、男性と女性の来場者の割合について、'男性の割合が少ない。もっと男性に関心を持ってもらえるような方法を考える必要があるのではないかとの意見が出され、事務局からは、'男性も参加できるものを考えていきたいとの説明があった。

また、委員から、介護人材不足が深刻化する中、介護のおしごと就職面接会は、どのような様子だったかとの質問に対して、事務局から、'今回は4法人の参加だったが、ハローワークから紹介を受けた方など12名が来場し、うち5名が採用され、好成績だったと感じているとの説明があった。

フェア全体に関して、委員から、アンケートでも、いろいろな意見が出ているようだ。それらも参考にして、引き続き充実したイベントとなるようお願いしたいとの意見があった。

(3) すみだ介護のおしごと合同説明会の開催について

事務局から、2月に開催する「すみだ介護のおしごと合同説明会」について説明があった。

委員から、前回は実績が少なかった。今回はもう少し期待できるかとの質問に対して、事務局から、'国でも改正入管法が可決され、外国人材まで受け入れていこうという動きがある。区としても実績が上がるようしっかり取り組みたいとの説明があった。

また、委員から、資格がない方でも、介護に興味がある方が多くいる。ただ、実際に無資格の方が働ける場所は、特定の施設などに限られているので、説明会の中で、資格を取得できる方法や研修などの情報提供ができればよいと思うとの意見が出された。事務局からは、'そうした必要性はあると考えている。PRしていきたいとの説明があった。